

2026年3月24日

長野県感染対策研究会  
代表世話人 花岡正幸  
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会  
担当者 征矢佳輔

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)  
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告  
～2026年2月データについての報告～  
(データ集計日：2026年3月24日 集計対象施設数：61施設)

2026年2月のVRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

**<MRSAの分離状況について>**

長野県全体の分離率は5.45%でした。JANISでの全国の実分離率は5.99%（2024年1月～12月年報）です。前月に比べ東信地区で若干の減少傾向が認められますが、いずれの地区も概ね横ばいです。

**<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>**

前月に引き続き、2月は多剤耐性緑膿菌の分離はありませんでした。JANISでの全国の実分離率は0.02%（2024年1月～12月年報）です。なお、1例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡しております。

**<第三世代セファロsporin耐性大腸菌の分離状況について>**

長野県全体の分離率は3.23%で、前月に比べ東信、南信地区で分離率の増加が認められます。JANISにおける全国の実分離率は4.06%（2024年1月～12月年報）となっています。JANISで2015年集計分より用いられている第三世代セファロsporin耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡しております。

耐性菌検出検査やSICSSデータ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

**【SICSSのデータを用いた学術活動について】**

SICSSのデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

問い合わせ先  
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 名取 達矢  
TEL: 0263-37-3493、 e-mail: ntrtty@shinshu-u.ac.jp